

国立国際医療研究センター病院
糖尿病内分泌代謝科
レジデント・フェロー プログラム紹介

National Center for Global Health and Medicine
Residency Program & Fellowship Program



NCGM糖尿病内分泌代謝科 レジデント・フェロープログラムの特徴

糖尿病・内分泌両分野の

多様な専門症例

豊富な主体的診療

の機会



NCGM
National Center for Global Health and Medicine

充実した

教育・研究の環境

個々のニーズに沿った

研修環境

初期研修
2年間

レジデントプログラム
3年間
(卒後3-5年)

フェロープログラム
最大3年間
(卒後6年目以降)

特徴①：糖尿病と内分泌両方の高度な専門性が身につく

糖尿病専門研修

内分泌専門研修

他院からの豊富な専門症例の紹介

- ・糖尿病
(多発合併症あり・高度肥満合併など)
- ・高血糖緊急症
- ・1型糖尿病
- ・重症低血糖

- ・副腎/下垂体疾患
- ・甲状腺/副甲状腺/性腺疾患
- ・内分泌緊急症
- ・家族性高コレステロール血症
- ・遺伝性内分泌疾患

院内他科からの多様な紹介患者

- ・悪性腫瘍
- ・重症感染症、HIV
- ・周術期
- ・臍全摘後
- ・2次性糖尿病
- ・外国言語の患者
- ・高齢者糖尿病
- ・妊娠糖尿病

- ・電解質異常
- ・難治性高血圧
- ・irAE (免疫関連副作用)
- ・がんサバイバーのトランジション

専門医取得に必要な症例は一通り集まるよ!



高度先進医療・難治性疾患

- ・インスリンポンプ管理
- ・臍島移植
- ・肥満外科手術
- ・人工臍臓管理

糖尿病・内分泌疾患を
バランスよく診られる
病院は限られるみたい



- ・バセドウ病のアイソトープ治療
- ・原発性アルドステロン症の副腎静脈サンプリング
- ・高難度手術を要する副腎腫瘍の周術期管理
- ・転移再発褐色細胞腫の全身化学療法

他の研修プログラムとの比較

市中病院と大学病院の 良いところ

国立国際 
糖尿病内分泌代謝科

大学病院

市中病院

	国立国際 糖尿病内分泌代謝科	大学病院	市中病院
専門症例の集積	◎	◎	○～△
糖尿病・内分泌 両分野の研修	◎	△	○
一般内科症例の割合	○	△	○～◎
若手医師の裁量	◎	△	○～◎
上級医からの指導	◎	◎	○
研究環境	◎	◎	△
博士号取得	○	◎	△
レジデントプログラムの 柔軟性	○	△	◎

特徴②：充実した教育環境

豊富な
主体的診療
の機会

- ・入院患者の診療・退院後フォロー外来
- ・他院からの紹介患者の初診
- ・院内他科からの紹介患者の併診
- ・固定外来

臨床現場で若手の裁量が多く、主体的に勉強するスタイルの人におすすめだよ！



濃密な
フィードバック

- ・教育的なカンファレンス
- ・経験豊富な指導医からの直接指導
- ・分野横断的疾患の多科連携
(糖尿病総合診療センター/内分泌・副腎腫瘍センターの枠組みの活用)

指導医や他科との垣根が低く、気軽に相談しやすい環境だよ！



特徴③：研究・次のキャリアへの発展

主体的診療
・フィードバック

ひとりひとりの希望にあわせて
様々な挑戦の機会があるよ！

症例報告・
研究への発展

- ・学会発表（国内外）
- ・論文執筆
- ・他の専門施設との合同勉強会での発表
- ・クリニカル・クエスチョンを踏まえた臨床研究・基礎研究
- ・糖尿病研究センター/糖尿病情報センター/連携大学院のリソースを生かした研究



個々のニーズに
沿った
キャリア選択

- ・専門医取得
- ・連携大学院による博士号取得
- ・NCGMフェロー・スタッフとして勤務
- ・研究所・情報センターでの勤務
- ・子育て・家庭との両立
- ・市中病院・大学病院への異動
- ・研究留学、大学院留学
- ・新規共同研究立ち上げ
- ・開業 など



病棟管理はチーム制なので
安心して休暇をとれるよ！

2種類のレジデント研修プログラム

- センター病院重点コース

卒後3年目

NCGM

卒後4年目

連携施設

卒後5年目

NCGM

専門的な診療能力を重点的に養成

連携施設は専攻医の
希望も重視されるよ！



- 外部病院重点コース

卒後3年目

NCGM

卒後4年目

連携施設

卒後5年目

連携施設

NCGM

総合的な内科力を重点的に育成

多数の連携施設（レジデント研修プログラム）

- 国立国際医療研究センター 国府台病院(千葉県)
- 国立がん研究センター中央病院(東京都)
- 虎の門病院分院(神奈川県)
- 湘南鎌倉総合病院(神奈川県)
- 東埼玉病院(埼玉県)
- 静岡県立総合病院(静岡県)
- 静岡県立静岡がんセンター(静岡県)
- 佐久総合病院(長野県)
- 日本海総合病院(山形県)
- 市立角館総合病院(秋田県)
- 五島中央病院(長崎県)
- 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター(沖縄県) 他多数

専門性や病院規模、地域も多様で、
自分のニーズに合ったプログラムを作れるよ！



診療科の受け入れ状況は年度により
変わるので、事前の確認が必要みたい

週間スケジュール

※下線は科全体でのイベント

曜日	月	火・水	木	金	土日祝
AM	<u>新患カンファレンス</u> チーム回診	チーム回診	<u>新患カンファ</u> チーム回診	<u>新患カンファレンス</u> <u>全体回診</u> チームカンファレンス	オンコール 体制
PM	チームカンファレンス <u>Weekly</u> <u>カンファレンス</u>	チームカンファレンス	チームカンファレンス	<u>薬剤説明会・抄読会</u> <u>多職種カンファレンス</u> 甲状腺エコー ※希望者 チームカンファレンス	

病棟管理：2チーム制（1チーム=フェロー1人+レジデント1-2人+研修医で平均5-7人受持）

- 救急・病棟コンサルト当番(1日/週程度)
- 紹介受診外来・外来コンサルト当番(1日/週程度) ※レジデント1年目途中～
- 固定外来(半日/週)、外勤（半日/週） ※レジデント3年目～
- 他科合同カンファレンス：ハイリスク手術症例カンファレンス、フットケアカンファレンス、産婦人科合同カンファレンス、肥満症カンファレンスなど

募集要項・福利厚生

- 募集定員 : レジデント : 約2名/年、フェロー : 年度により変動
- 給与 : 当センター規定に準ずる
- 雇用期間 : レジデント・フェロー 各3年間
- 当直 : 独歩救急外来診療 1回/2-3か月
- オンコール : 研修年次により変動 最大約1-1.5/週
- 外勤 : 半日/週の外勤日あり (レジデント3年目以降)

プログラム経験者の声

松下 真弥（糖尿病研究センター 分子糖尿病医学研究部）

私は初期研修医から当院に在籍し、現在は研究所の分子糖尿病医学研究部で基礎研究を中心に研究活動をしています。後期研修医時代から糖尿病診療に携わり、日々の診療を通して色々な臨床的疑問を持ちましたが、それを追求して還元する手段を指導医の先生方のサポートによって学ばせていただいた他、個々人のキャリアパスに合わせて指導をいただきました。最先端の医療に触れる傍ら社会人大学院や研究活動への従事などの機会も多岐にありました。合併症やアンメットニーズの多い疾患領域であり、日々新しい発見に出会いとても刺激的で充実した環境です。患者さんにとってより良い未来のために、これからの医療に貢献してきましょう！

内原 正樹（フェロー）

雰囲気の良い同僚や教育熱心な指導医の先生方に囲まれ、後期研修から入職した私でも日々楽しく働ける環境です。糖尿病やその合併症、内分泌腫瘍は他科との連携が重要な疾患で、総合病院のNCGMはこれらの経験を積むのに適しています。他の施設とも連携し、副腎悪性腫瘍の治療開発や予後予測に関するTranslationalな研究も行っています。意欲ある先生方と切磋琢磨できる日を楽しみにしています！

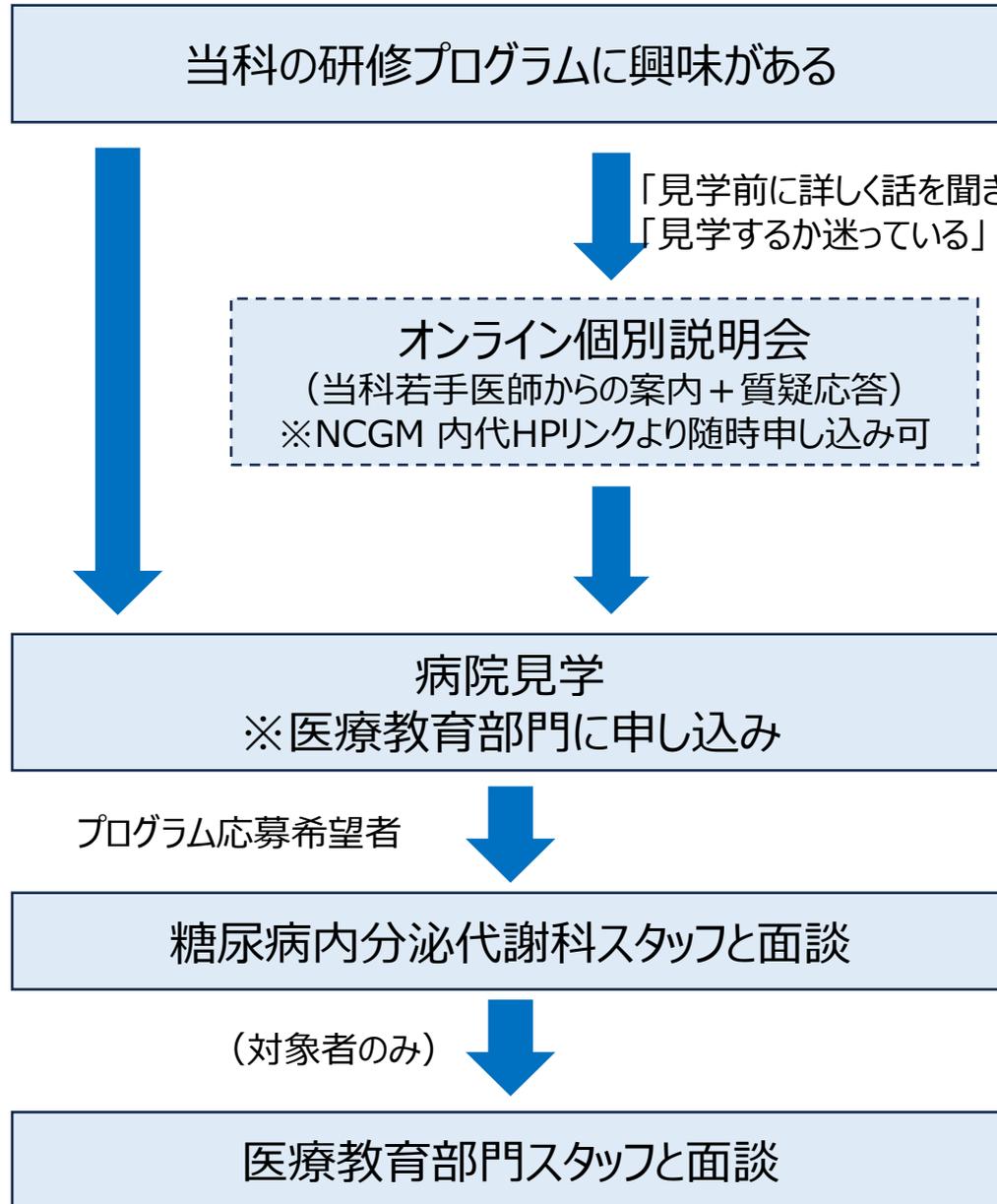
井花 庸子（指導医/糖尿病情報センター）

初期研修から当院に在籍し、現在は病院・糖尿病情報センターを兼務しながら診療・糖尿病の情報発信や医療政策研究に関わっています。後期研修以降は専門を学びつつ、自分の興味や資質をSocial capitalとしての医療へどのように活かしていくか、道筋を選択する時期です。当科では様々な立場の指導医がおりますので一緒に考えていきましょう！

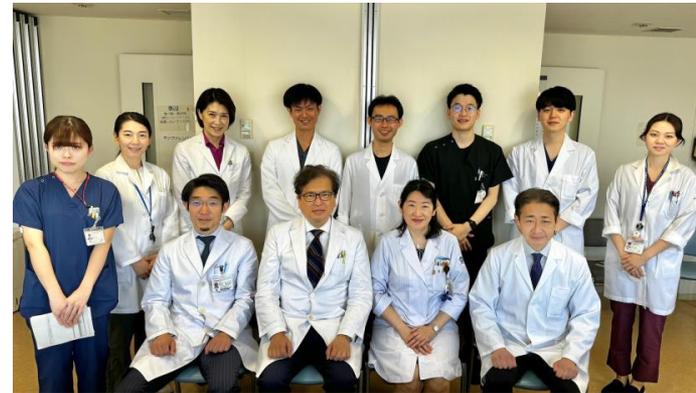
馬本 恒太郎（フェロー）

私は初期研修医・レジデントと一貫してNCGMに所属しています。現在は、フェローとして、診療業務の傍ら、連携大学院制度を利用し、当センターの研究所で臨床研究・基礎研究にも取り組んでいます。世界的なトップランナーである先生方からの直接の指導を頂ける環境は非常に貴重だと感じています。皆様と共に、糖尿病学・内分泌学の醍醐味を味わい尽くし、さらに発展させる日々を楽しみにしています。

応募の流れ



お気軽にオンライン
説明会・病院見学に
お申し込みください！



* 選考時期：毎年5～6月頃
(年度により早期締切の場合あり)